平成26年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年４月30日

上場会社名	日本和装ホールディングス株式会社		上場取引所　東
コード番号	2499	ＵＲＬ　http://www.wasou.com/profile/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）吉田重久	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役管理本部長	（氏名）菅野泰弘	ＴＥＬ　03-3216-0070
四半期報告書提出予定日	平成26年５月13日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年12月期第１四半期の連結業績（平成26年１月１日～平成26年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第１四半期	1,345	34.8	△433	－	△458	－	△305	－
25年12月期第１四半期	997	△7.6	△503	－	△515	－	△324	－

（注）包括利益　26年12月期第１四半期　△314百万円（－%）　25年12月期第１四半期　△327百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第１四半期	△33.93	－
25年12月期第１四半期	△36.10	－

（注）平成25年12月期第1四半期及び平成26年12月期第1四半期の営業利益、経常利益及び四半期純利益がいずれも損失であったため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、平成25年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。平成26年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第１四半期	7,468	2,458	32.6	270.34
25年12月期	8,166	2,840	34.4	312.24

（参考）自己資本　26年12月期第１四半期　2,433百万円　25年12月期　2,810百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	－	0.00	－	8.00	8.00
26年12月期	－				
26年12月期（予想）		2.00	－	3.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

（注）平成25年12月期の期末配当の内訳　　普通配当　３円　　特別配当　５円

３．平成26年12月期の連結業績予想（平成26年１月１日～平成26年12月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	0.7	500	△1.6	450	3.6	240	1.6	26.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第２四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期１Ｑ	9,002,000株	25年12月期	9,002,000株
②　期末自己株式数	26年12月期１Ｑ	0株	25年12月期	0株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期１Ｑ	9,002,000株	25年12月期１Ｑ	9,002,000株

（注）当社は、平成25年７月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
３．補足情報 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

「きもの着付け教室」の卒業生（会員様）に対する施策について

当社グループは、中長期的な成長戦略として「顧客参加型企業」を基本方針に定めており、お客様が参加し、楽しんでいただける企画を次々と提案することで、お客様からの信頼度・愛着度の向上を図っております。

当第1四半期におきましても、新しいテーマの販売機会イベント「きものだよ！全員集合」の開催が好評を博し、売上高の向上に寄与しました。

「きもの着付け教室」の卒業生（会員様）向けイベントの開催は、販売費及び一般管理費の増加にも繋がりますが、当第1四半期においては、購入率や購入単価の向上が見られるなど、効率の良い営業成績を上げています。

「きもの着付け教室」の受講生に対する施策について

将来的に当社グループの会員様となる「きもの着付け教室」の新規受講生の募集については、当第１四半期が春の教室の募集時期にあたります。１月から３月にかけての募集活動の結果、例年通りの受講生数となる応募をいただきました。この受講生を対象に４月から６月に開催する販売機会での売上高は、順調に推移するものと見込んでおります。

また、第１四半期における「きもの着付け教室」の売上高は、前年秋に開講した教室終盤の販売機会によるものが中心です。当第１四半期においては、前年秋の受講生数が計画通りであったことから、前年同四半期と比較し売上高が増加しました。

これらのことから、売上高については1,345百万円（前年同四半期比34.8%増）となりました。

利益面については、売上高の増加に伴い、売上原価（着物や帯の縫製に係る費用）が増加しました。販売費及び一般管理費については、「きもの着付け教室」の新規受講生募集に係る広告宣伝費を計上したことに加え、会員様向けのイベント開催に係る経費や、給与手当や着付け講師の報酬等、人件費が増加したことにより、営業損失は433百万円（前年同四半期は営業損失503百万円）となりました。

営業外損益では、日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息を12百万円計上、資金調達手数料として支払手数料12百万円計上したこと等により、経常損失は458百万円（前年同四半期は経常損失515百万円）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、マイナス146百万円（前年同四半期はマイナス190百万円）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純損失は305百万円（前年同四半期は四半期純損失324百万円）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して698百万円減少して7,468百万円となりました。

流動資産では、現金及び預金が694百万円減少、営業未収入金が153百万円増加、割賦売掛金が140百万円減少したこと等により、総額では728百万円減少し、6,282百万円となりました。

有形・無形固定資産及び投資その他の資産には、特記すべき変動はありません。

一方、流動負債につきましては、日本和装クレジット株式会社の運転資金としての短期借入金を長期借入金に振替えたことにより、短期借入金が1,362百万円減少し、総額では2,856百万円となりました。

固定負債では、償還により社債が50百万円減少したことや、日本和装クレジット株式会社の運転資金としての短期借入金を長期借入金に振替えたことにより、長期借入金が1,206百万円増加し、総額では2,152百万円となりました。

純資産につきましては、当第１四半期連結累計期間に計上した四半期純損失305百万円及び配当金の支払い72百万円により、利益剰余金が371百万円減少しました。この結果、前連結会計年度末と比較して381百万円減少し、2,458百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年２月13日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

今後の取り組みについて

会員様向けの販売機会イベント「遊々会（ゆうゆうかい）」を、国内のみならずパリ、ニューヨークでも開催する等、さらにお客様に楽しんでいただく企画を充実させております。また、連結子会社の株式会社はかた匠工芸が運営する、男きもの専門店「ＳＡＭＵＲＡＩ」を東京銀座の歌舞伎座前、京都祇園の南座前に相次いで出店し、きもの市場の開拓を進めております。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成26年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,910,147	1,215,166
営業未収入金	574,671	727,800
割賦売掛金	3,770,809	3,630,448
たな卸資産	140,386	120,035
その他	652,280	628,903
貸倒引当金	△36,950	△39,836
流動資産合計	7,011,345	6,282,518
固定資産		
有形固定資産	673,912	694,373
無形固定資産	23,964	25,749
投資その他の資産	456,992	465,528
固定資産合計	1,154,869	1,185,651
資産合計	8,166,214	7,468,169
負債の部		
流動負債		
営業未払金	35,682	32,122
短期借入金	3,180,876	1,818,149
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	89,721	2,626
前受金	424,530	343,556
営業預り金	10,949	114,411
その他	487,321	445,689
流動負債合計	4,329,081	2,856,555
固定負債		
社債	250,000	200,000
長期借入金	735,388	1,942,189
その他	11,202	10,651
固定負債合計	996,590	2,152,841
負債合計	5,325,672	5,009,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	2,020,827	1,649,419
株主資本合計	2,816,871	2,445,463
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,072	△11,904
その他の包括利益累計額合計	△6,072	△11,904
新株予約権	3,556	1,538
少数株主持分	26,187	23,675
純資産合計	2,840,541	2,458,772
負債純資産合計	8,166,214	7,468,169

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	997,911	1,345,232
売上原価	188,043	235,254
売上総利益	809,867	1,109,978
販売費及び一般管理費	1,313,433	1,543,493
営業損失（△）	△503,565	△433,514
営業外収益		
受取利息	343	191
その他	1,900	2,595
営業外収益合計	2,244	2,787
営業外費用		
支払利息	7,463	12,036
支払手数料	6,728	12,586
その他	－	2,716
営業外費用合計	14,192	27,340
経常損失（△）	△515,513	△458,067
特別利益		
新株予約権戻入益	－	3,171
特別利益合計	－	3,171
税金等調整前四半期純損失（△）	△515,513	△454,895
法人税、住民税及び事業税	2,231	4,247
法人税等調整額	△192,774	△150,253
法人税等合計	△190,542	△146,006
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△324,970	△308,889
少数株主損失（△）	－	△3,449
四半期純損失（△）	△324,970	△305,439

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△324,970	△308,889
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,104	△5,831
その他の包括利益合計	△2,104	△5,831
四半期包括利益	△327,075	△314,721
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△327,075	△311,271
少数株主に係る四半期包括利益	－	△3,449

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

３．補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「きもの着付け教室」の受講生及び卒業生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対しての仲介手数料です。

「きもの着付け教室」は年２回（春期・秋期）開講しており、春期は第１四半期中に受講生を募集して開講し、受講中となる第２四半期を中心に販売機会を開催して終結します。同じく秋期では、第３四半期中に受講生を募集・開講し、第４四半期を中心に販売機会を開催して終結します。そのため、広告宣伝費を主とする受講生募集に係る経費が第１四半期及び第３四半期に集中して発生し、販売機会による仲介手数料の計上が第２四半期と第４四半期に集中します。

その他、教室の卒業生である会員様を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「きもの着付け教室」に係る経費及び売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。